

経済指標レポート 第229号

(社)関西経済連合会 経済・経営グループ(担当:壺井)

Tel : 06 - 6441 - 0102 Fax : 06 - 6441 - 0443

足下、全国平均を上回る好調さが続いている関西経済について、(財)関西社会経済研究所は、2月22日に「関西経済復活の軌跡と今後の課題」と題したレポートを発表した。

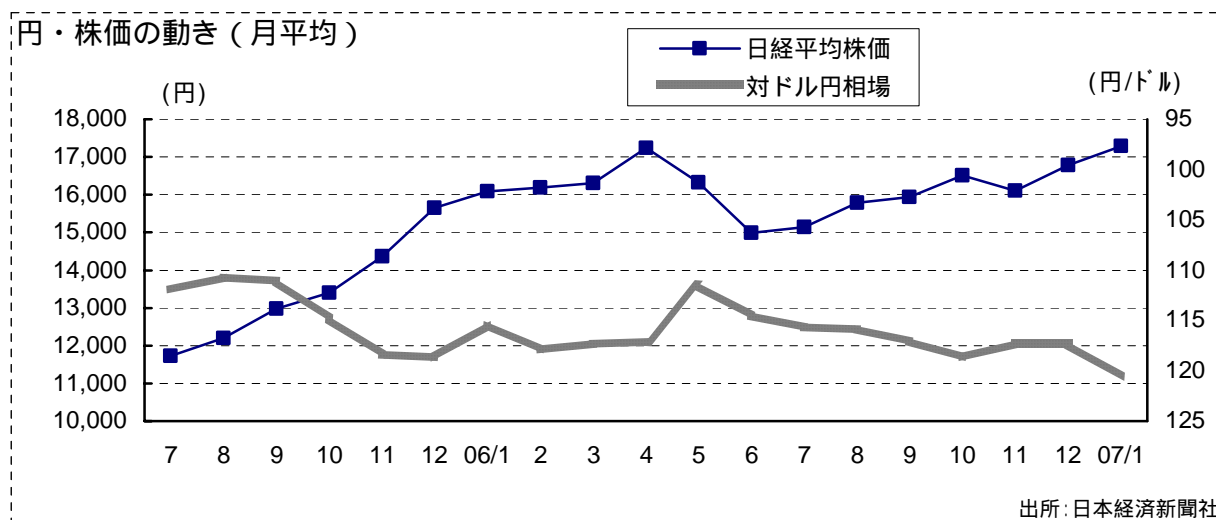
レポートでは、バブル後の関西経済の軌跡を振り返り、関西経済低迷の要因分析を行うとともに、今後の環境変化と課題、とりわけ中長期的に大きな影響を与える人口動態と経済・産業の関係に焦点をあてて考察している。

その中で、関西経済の復活の要因として、関西企業の「3つの過剰(債務・設備・雇用)」の解消、アジア経済の高成長などに伴う輸出の増加、工場等制限法の撤廃、大規模プロジェクトの都心回帰の4点が挙げられている。

それらの要素を持って復活を遂げつつある関西経済の今後の課題としては、人口減少社会への対応、高齢者有業率の低さと女性労働力の活用、少子化・高齢化に対するビジネス対応、選択と集中が挙げられる。特に、関西の人口については2025年までの20年間201万人減り、2030年には288万人減ると予測されている。大阪市の人口が現在約264万人であり、今後20年間で現在の大阪市の人口以上の数が減るという予測である。

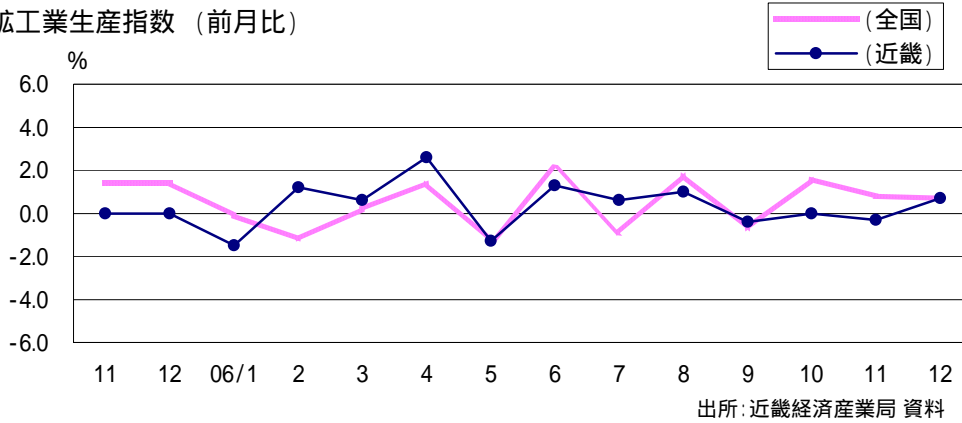
現状では関西経済は復活傾向を持続させているが、間近に本格的に迫ってきている急激な環境の変化に対応したビジネス・施策のあり方を一層考えていくことが、さらなる持続のためには必要である。

各指標の動き(各指標項目は12月指標値)



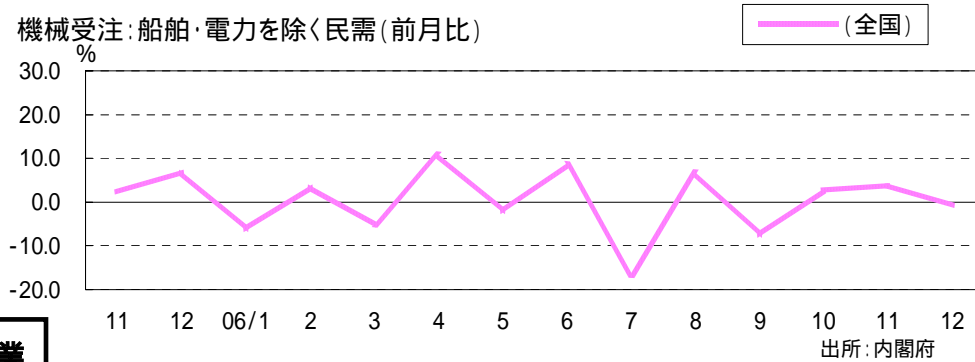
生産・機械受注

鉱工業生産指数 (前月比)



近畿は前月比 0.7% 増と 2 ヶ月ぶりに上昇した。一般機械工業、化学工業（医薬品除く）、電気機械工業、電子部品・デバイス工業、が上昇に寄与している。

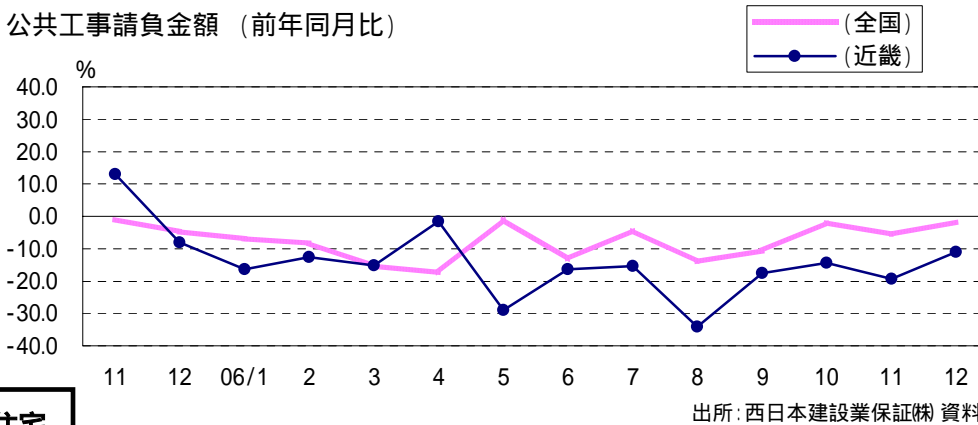
機械受注: 船舶・電力を除く民需 (前月比)



機械受注は前月比 0.7% 減となった。業種別の受注は製造業が同 0.1% 増、非製造業（船舶・電力を除く）は同 5.5% 減となった。

公共事業

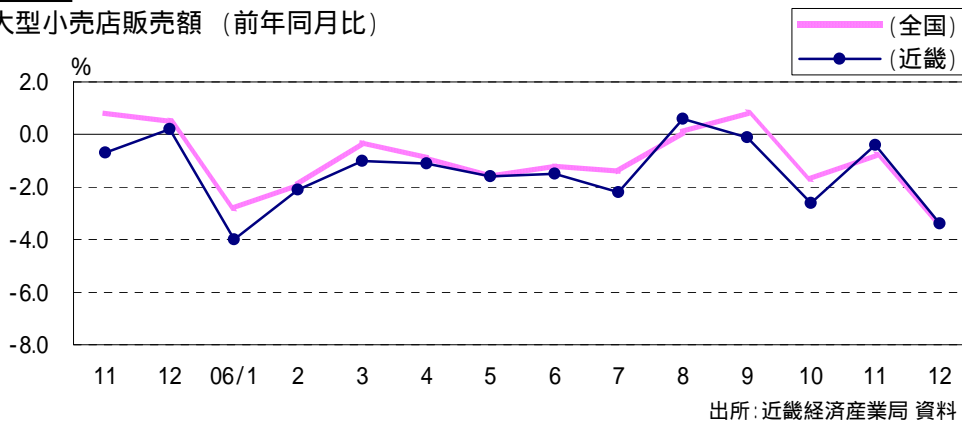
公共工事請負金額 (前年同月比)



近畿は前年同月比 11.1% 減。発注者別では「その他公共的団体」で 3 倍増となったものの、「国」で大幅増となったものの、「独立行政法人等」「市町村」「府県」で減少となった。

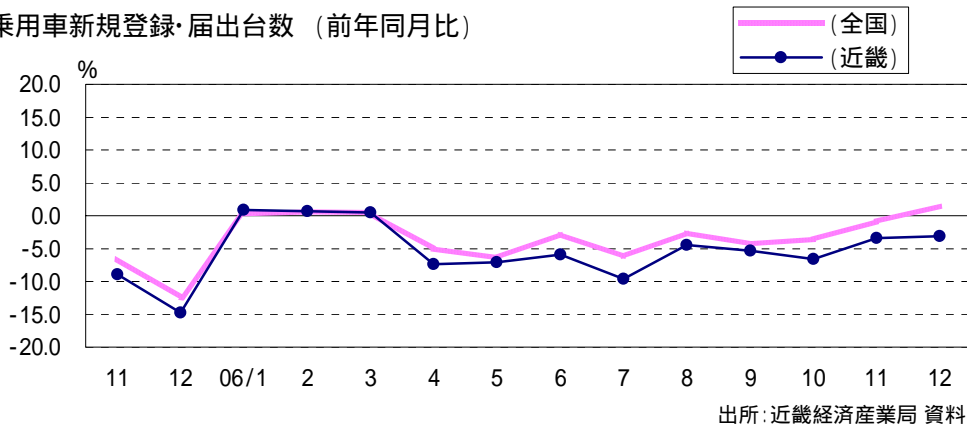
消費・住宅

大型小売店販売額 (前年同月比)



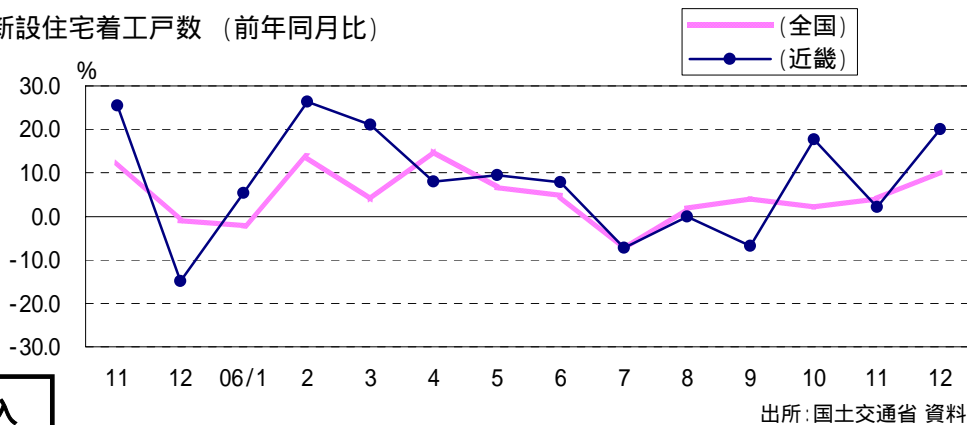
近畿は既存店ベースで前年同月比 3.4% 減と 4 ヶ月連続のマイナスとなった。今冬は気温が高めに推移し、冬物衣料品・暖房器具等の売れ行きが不調。

乗用車新規登録・届出台数 (前年同月比)



近畿は前年同月比3.1%減と9ヶ月連続で前年を下回った。軽四車が7ヶ月連続で前年を上回ったものの、普通車が2ヶ月ぶりに、小型車が9ヶ月連続で前年を下回った。

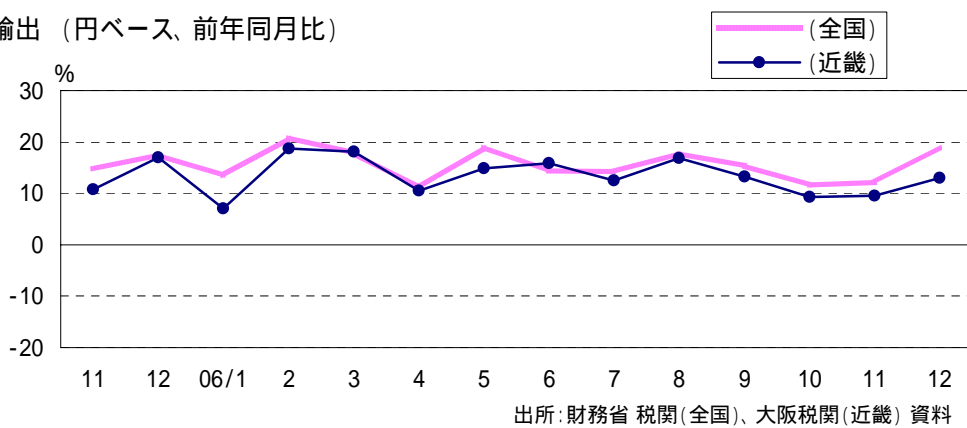
新設住宅着工戸数 (前年同月比)



近畿は前年同月比20.0%増と3ヶ月連続で前年を上回った。持家が3ヶ月連続で前年を下回ったものの、分譲住宅が2ヶ月ぶり、貸家が3ヶ月連続で前年を上回った。

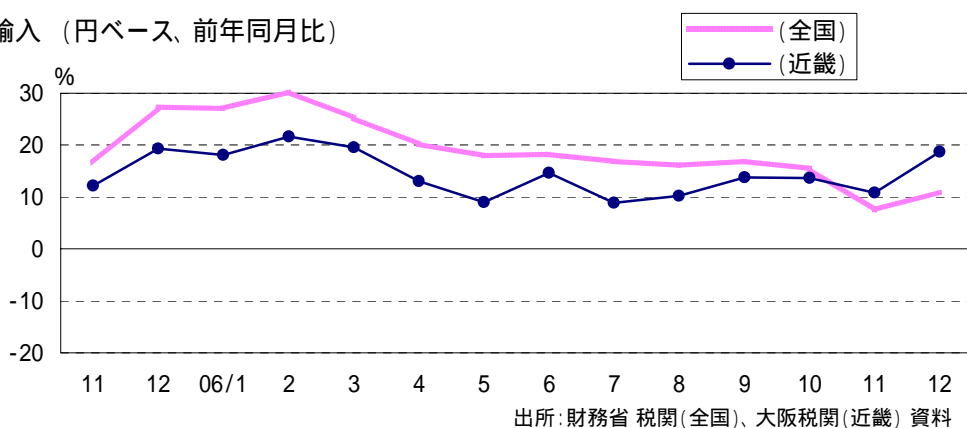
輸出入

輸出 (円ベース、前年同月比)



近畿は前年比9.5%増で57ヶ月連続のプラスとなった。自動車、音響・映像機器部品、建設用・鉱山用機械、鉄鋼が増加。

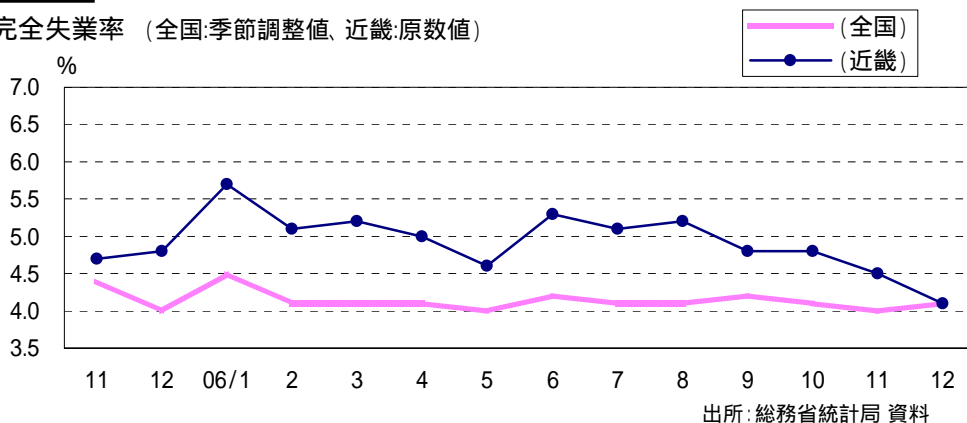
輸入 (円ベース、前年同月比)



近畿は2ヶ月連続で全国水準を上回る、前年比10.5%増で35ヶ月連続のプラスとなった。輸入は5ヶ月連続の2桁連続増。

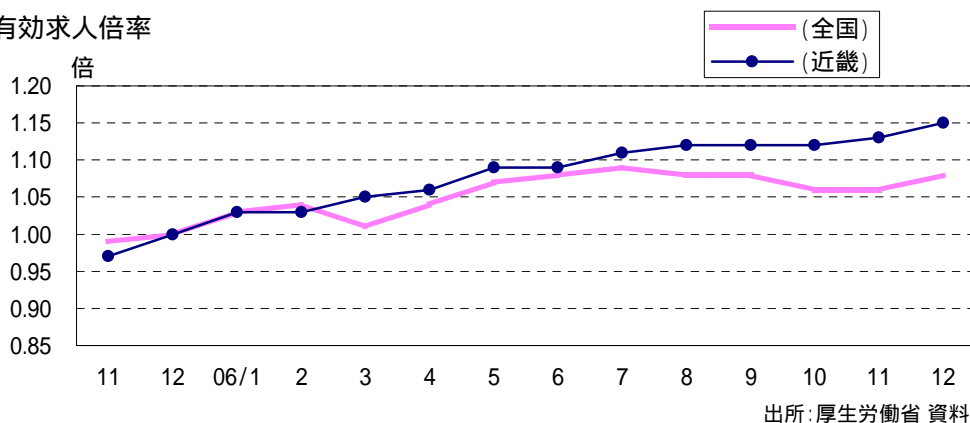
雇用・倒産

完全失業率 (全国:季節調整値、近畿:原数値)



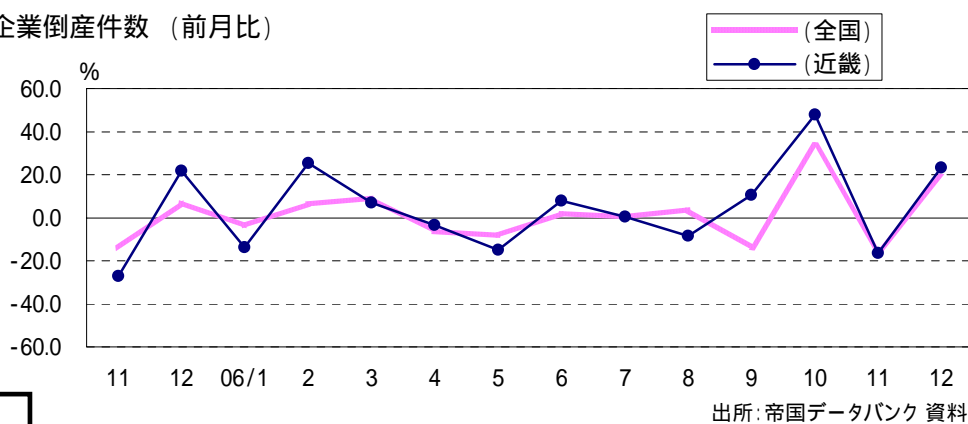
近畿の完全失業率は4.1%で、4ヶ月連続で前年を下回った。基調として、引き続き緩やかに改善している。

有効求人倍率



近畿は前月から上昇し、1.15倍となった。引き続き、全国(1.08倍)を上回る勢いで推移している。

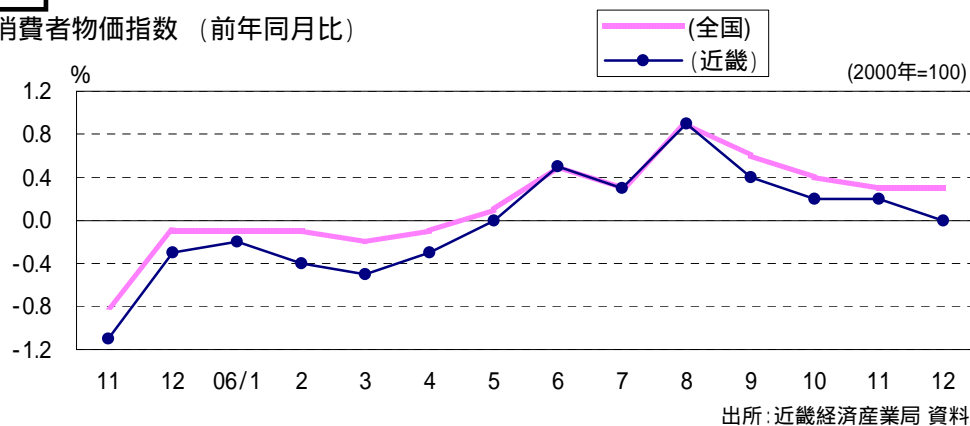
企業倒産件数 (前月比)



近畿の倒産件数は前月比23.4%増。業種別では建設、サービス、食品、繊維など。小規模企業の倒産が頻発している。

物価

消費者物価指数 (前年同月比)



近畿は99.9で前年同月比0.1%減となり4ヶ月連続で低下。被服及び履物、交通・通信、食料、光熱・水道が低下。